

道徳授業地区公開講座

日時 令和4年9月17日(土) 10時15分～11時50分

場所 板橋区立板橋第十小学校

よりよく生きるために、答えが一つでない問題を
子どもたちが自分自身の問題ととらえて向き合う道徳授業を目指します。

学校では、国語、算数、音楽、図工、体育など、いろいろな教科の学習をします。そして、教科の学習で学んだことを生かし、学級活動や学校行事、総合的な学習の時間などで、子どもたちが今後の社会で生きるために必要な、様々な力を育てます。また、学習以外にも、いろいろな場面でたくさんの友達と関わることで、子どもたちの健やかな成長につなげていきます。

さらに、道徳があります。

では、道徳で、子どもたちはどんなことを学ぶのでしょうか。

今回の道徳授業地区公開講座では、3校時（10:15～11:00）に本校の全学級の道徳の授業について公開します。また、4校時（11:05～11:50）には、「道徳ってどんな勉強をするの？～いじめの未然防止と道徳授業～」と題した講演会を行います。

授業公開と講演会をとおして、道徳の授業で子どもたちは何を学ぶのか、そして、いじめの未然防止とどのように関連するのかについて、保護者・地域の皆様にご理解いただけると幸いです。ご来校、お待ちしております。

板橋区立板橋第十小学校 校長 富田 和己

1年1組 担任

1 ねらい

仲間に入れないことのつらさ、悲しさを理解し、どんな理由があっても誰とでも分け隔てなく、仲よくしようとする態度を養う。

2 教材

主題名 だれとでも なかよく『かずやくんの なみだ』（日本文教出版）

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

登校時間や休み時間に、一人一人とコミュニケーションを図るように心がけています。特に、ふだんと比べて元気がないと感じたときには、積極的に声を掛け、不安に思っていることや困っていることを話して、解決に向かえるように支援しています。

4 ご家庭へのメッセージ

1年1組では、けがをしてしまった仲間に対して、「大丈夫？」と声かけをしたり、牛乳をこぼして困っている仲間と一緒に片付けをしたりと、思いやりのある行動をよく見かけます。自らこのような行動をすることができるのは、ご家庭での温かなふれあいの積み重ねがあってこそだと感じます。自分を大切にするとともに、周りの人にも優しく接することができるように、お子様に「大好きだよ。」という言葉を伝え、ギュッと抱きしめていただけたらと思います。

1年2組 担任

1 ねらい

仲間に入れないことのつらさ、悲しさを理解し、どんな理由があっても誰とでも分け隔てなく、仲よくしようとする態度を養う。

2 教材

主題名 だれとでも なかよく『かずやくんの なみだ』（日本文教出版）

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

「どんなことであっても、相手が嫌な気持ちになることは、けっして言っても、してもいけない」「自分がどう捉えていても、相手が嫌だ、と感じてしまったらそれはよくないこと」と、ふだんから子どもたちに伝えていきます。また、学級の友達みんなとの関わりを楽しんでいることから、相手を思いやる気持ちが育てられるよう、学級全体での遊びの時間や、小集団での活動を多く取り入れています。

4 ご家庭へのメッセージ

小さな子どもたちの言動には、経験した物事をまだそのまま反映させていることが多いです。「こんな時にはこんな風に言うんだ」「こういう場合はこうするんだ」を、身近な大人の行動や、自分が言われたこと、されたことから学び自分も知らず知らず同じように振る舞い、いつか自分のものにしていきます。たくさん優しい声がけをされたり、温かく接してもらえたりすると、そのときに感じた嬉しい気持ちを、自然と自分も相手にさせてあげようと思えるようになります。全てが絶対ではありませんが……。そうやって、知って、身に付けていくことはとても多いです。なので、どうぞお子さんにはたくさん温かい言葉をかけてあげて、褒めてあげて、一緒に笑ってあげて、楽しいことを共有する喜びを味わわせてあげてください。他者を思いやることのできる気持ちの基本はご家庭の方との温かな触れ合いであると思います。

1 ねらい

仲間に入れないことのつらさ、悲しさを理解し、どんな理由があっても誰とでも分け隔てなく、仲よくしようとする態度を養う。

2 教材

主題名 だれとでも なかよく『かずやくんの なみだ』（日本文教出版）

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

全員が安心・安全と感じられる環境作りのために「挨拶」「言葉遣い」「非暴力」を特に心がけています。「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」をしっかりと伝えること、心が温かくなるふわふわ言葉を増やしていこうと伝えています。そして、物理的な暴力はもちろん、言葉の暴力も相手や自分を傷付けてしまうことを確認し、なくしていきたいです。これらをコミュニケーションの土台として、互いの良さを認め合う雰囲気をもっと高めていきます。

4 ご家庭へのメッセージ

いつも温かく見守っていただきありがとうございます！学校でどんなことがあっても、待っていてくれる家の人がいるから、子どもたちものびのびと前向きに頑張ることができているのだと感じます。第二の家と言えるくらい安心できる学級であるよう頑張ります！

1 ねらい 自分や友達のよいところについて考える中で、よいところが見つかるとてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養う。

2 教材 いい ところ みつけた

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

いじめはだれでもやってしまう可能性があり、誰もが気を付けないといけないことだと伝えると共に、友達の良いところを見つけ、間違っことは共感したり許し合ったりすることで、認め合う関係作りを心掛けています。

4 ご家庭へのメッセージ

友達の良さを見つける視野、友達に間違いを教える勇気や許容すること、自分を認められる根拠のある自信、自分の間違いを認める誠実さなどを育てていきたいと思っています。保護者の皆様も大変かと思いますが、間違えてはいけないと肩を張り過ぎず、子どもを褒める余裕がもてるようにしてください。

2年2組 担任

1 **ねらい** ななみに対するゆかの心の変化について考えることから、誰に対しても分け隔てなく公平な態度で接しようとする態度を養う。

2 **教材**

主題名 こうへいな たいど 「ドッジボール」(日本文教出版)

3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

子どもたちの表情やふだんのやり取りをよく見たり聞いたりするようにしています。また、子供の方から話したり、相談してきたりしたことについてよく話を聞くようにしています。元気がよく楽しいことが大好きで、子ども同士仲がいい2組ですが、仲がいい分、友達への言葉遣いや態度で気になる場面が見られます。気が付いた時はその都度考えさせたり、振り返らせたりし、相手の気持ちや立場を尊重できるようにしています。

4 **ご家庭へのメッセージ**

子どもは経験してきたことが次第に身に付き、それが言動や習慣になって表れていきます。人とのふれ合いや交流で温かさや嬉しさを経験していると、友達にも優しく寛容に接すると感じます。愛情たっぷりに接してくださっているご家庭の方々、ぜひお子さんの良さや頑張りに目を向けてください。そして、保護者の皆様も心に余裕をもち、がんばりすぎない子育てができるよう、ご自身を大切になさってください。

2年3組 担任

1 **ねらい** 自分や友達のよいところについて考える中で、よいところが見つかるとてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養う。

2 **教材** いい ところ みつけた3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

学校生活のよさの1つは、集団で活動ができることです。その中で、いじめがなく、安心して過ごしてもらえよう友達との関わりを増やし、楽しさを感じる時間を多く作りたいと模索しています。

4 **ご家庭へのメッセージ**

引き続き、お子さんの自己肯定感が高まるように愛情を注いでください。自己肯定感の高い子は自分のことが好きになり、人にも親切になれると思います。

2年4組 担任

1 ねらい

ななみに対するゆかの心の変化について考えることから、誰に対しても分け隔てなく公平な態度で接しようとする態度を養う。

2 教材

こうへいな たいど 「ドッジボール」(日本文教出版)

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

ふだんからクラスでは気持ちを素直に言葉に表すことを大切にしています。表情や態度だけでは自分自身の気持ちは伝わりにくく、勘違いからのケンカが多く見られます。そのため、感じたことや思ったことをきちんと相手に伝えることで、すれ違いや無意識のうちに相手を嫌な気持ちにさせないように意識させています。「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉を当たり前、さらに、嬉しかったことや悲しかったことなども伝え合い、子どもたち同士で理解し合い、助け合える関係を築いていけるようにしています。

4 ご家庭へのメッセージ

4組の子どもたちは、誰かのために率先して行動できる子がとても多いです。その分、自分のことをおろそかにしてしまうこともあるため、自分のことをまず大切に、よいところをたくさん褒めて伸ばしていけるといいと思います。これからも、クラスみんなの力を合わせて素敵なクラスを作っていけたら嬉しいです。

3年1組 担任

1 ねらい

物語の人物に自分を重ね合わせたり、友達と意見を交流したりすることを通して、誰に対しても公平に接し、仲間を大切にしていよいよ関係を築こうとする心情を育てる。

2 教材

同じなかまだから

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

「楽しい!」「楽しみ!」と思える時間をなるべくたくさんつくって、みんなで笑い合える時間をもてるようにしています。互いの理解を深めるため、自分の気持ちを言葉にして伝えられるように声をかけています。

4 ご家庭へのメッセージ

素直で好奇心が旺盛で、元気で明るくて、たくさんお手伝いをしてくれて、困っている友達を進んで助けてくれる優しい子どもたちです。朝、元気な笑顔に会うと、とてもうれしい気持ちになります。ご家庭の支えあっての子どもたちの笑顔です。いつもありがとうございます。これからも、一人一人のよさを大切にしていけます。

3年2組 担任

1 ねらい

迷いながらも「やっぱりやめよう」と宣言した「ぼく」の気持ちを考えることから、正しいと判断したことを自信をもって行おうとする態度を養う。

2 教材

「たからさがし」

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

しあわせの風が吹いてくるような学級にしたいと思っています。そのために、「しせい」「あいさつ」「わらい」「せいとん」を日々心掛けています。クラス全員、一人ひとりの笑顔を大切にしていきます。

4 ご家庭へのメッセージ

「よりよいクラスになるために」という思いのもと、当番活動や係活動では、友達と協力して、楽しみながら活動をしています。また、そうした思いは自分の役割だからやるということではなく、それが当たり前だと思うように取り組んでいるように感じます。とても温かな心を持っているお子さんが多く、日々担任も温かな気持ちになっています。温かな気持ちをこれからも大切に、すてきなことだと伝えていきたいと思っています。

3年3組 担任

1 ねらい ドッジボールに勝つためにボールを回したのは「間違っていたのだろうか」と考えはじめた「ぼく」の思いから、誰とでも公平に接しようとする態度を養う。

2 教材 「ぼくのボールだ」

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

- ・一人一人かけがえのない存在であり、みんな長所を持っていることを伝えています。
- ・朝や授業終始、給食等の挨拶をきちんと行い、相手の立場になって言葉をつかう。
- ・友達とのけんかがあった場合は、担任も一緒に経緯を確認し、互いに改めてどうすればよかったかを確認している。

4 ご家庭へのメッセージ

外遊びや体育館遊び、学級活動の時間には、学級全員での遊びをすることが大好きなクラスです。授業では、「みんなが仲よく遊ぶために気をつけていることは」という問いから始まり、教材を通じて考え方の意図や違いに気付き、日常生活に生かせるよう学習を進めていきます。

4年1組 担任

1 **ねらい** 正しいと判断したことを自信をもって行うことは難しいことであることに気付き、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。

2 **教材**

主題名 正しい勇気をもって 教材名『遠足の朝』（日本文教出版）

3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

- ・人それぞれ考え方や感じ方は違うから、自分の言動を相手がどう感じるかを考えて話をすることが大切だと日頃から伝えています。
- ・トラブルなどがあったときは、互いの話をよく聞いてそれぞれの思いを理解すること、その上で何がいけなかったのか、今後どうすればいいのかを一緒に考えて解決できるよう意識しています。

4 **ご家庭へのメッセージ**

友達の意見を大切にしながら話し合いを進めたり、頑張っている姿を励まし合ったりする場面が多く見られます。今後も、一人一人の個性を大切に、助け合いながら成長できるクラスを目指していきたいと思います。

4年2組 担任

1 **ねらい** 正しいと判断したことを自信をもって行うことは難しいことであることに気付き、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。

2 **教材**

主題名 正しい勇気をもって 教材名『遠足の朝』（日本文教出版）

3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

- ・「みんなちがってみんないい」一人一人がみんな違うよさをもっていること、違いを認め合うことを伝えています。
- ・相手の気持ちを考えた言葉遣いができるように心がけています。
- ・けんかやいさかいがあった場合は、お互いの思いを受け止め、何がいけなかったのかどうしていけばいいのかを一緒に考えていきます。

4 **ご家庭へのメッセージ**

自分の意見も友達の意見も大切に、よりよい方向性を見つけ出そうとする姿勢があるクラスです。友達のがんばりを自分のことのように喜ぶ姿がとてもすてきです。これからも一人一人のよさを大切にしていきたいと思います。

4年3組 担任

1 **ねらい** 正しいと判断したことを自信をもって行うことは難しいことであることに気づき、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。

2 **教材**

主題名 正しい勇気をもって 教材名『遠足の朝』（日本文教出版）

3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

悪口や愚痴で築いた人間関係は、いつ自分に返ってくるか分からないことを伝え、気持ちの良い人間関係を構築するために言葉の使い方を指導するよう心がけている。

人の気持ちや心の中は、目で見ることができない。だからこそ、些細な言葉や行動が人の心を傷つけてしまうことを繰り返し伝えるよう心がけている。

4 **ご家庭へのメッセージ**

学級で遊ぶ際に、他の友達を気遣い、ボールを投げていない友達などに積極的にボールを譲り、投げていない友達によく声をかけるクラスです。細かい課題はありますが、周りを見て言動に気を付けようとする気持ちを大切にして今後も指導していきます。

5年1組 担任

1 **ねらい**

主人公の行動や周りの子どもたちの思いや悩みを通して、いじめを心から望んでいる者など誰もいないのだということを理解し、公正、公平な行いを大切にしようとする心情を育てる。

2 **教材**

主題名 正義の実現 教材名『名前のない手紙』（日本文教出版）

3 **いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること**

話し合い活動や会社活動、ペアトーク、授業内での意見交換など子ども同士が関わり合う活動を多く取り入れています。友達とコミュニケーションをとる機会を増やすことで、自分の考えや思いを表現するとともに、友達の考えや思いを受け止められるように意識しています。

4 **ご家庭へのメッセージ**

高学年になり、学校のことや自分のことを家の人に話さなくなる子どもが多いと思います。ささいな違いでも気になる様子がありましたら情報を共有していきたいと思います。子どもたちがもつ温かさを大切にすると同時に、子どもたち同士でその相乗効果が図れるよう、そのよさを伝えて

5年2組 担任

1 ねらい

主人公の行動や、周りの子どもたちの思いや悩みを通して、いじめを心から望んでいる者など誰もいないのだということを理解し、公正、公平な行いを大切にしようとする心情を育てる。

2 教材

主題名 正義の実現 教材名『名前のない手紙』（日本文教出版）

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

児童一人一人と必ず、毎日コミュニケーションを取るよう心がけています。コミュニケーションを取ることで児童のよさを見つけています。また、それぞれのよさを言葉にして全体に伝え、児童の自己肯定感の向上や認め合える人間関係の構築に努めています。

4 ご家庭へのメッセージ

5年生は自分のことを客観的に見るができるようになる時期です。友達と違うことが不安につながることもあります。お子様のもつ個性を褒めてあげてください。たくさん褒めてもらった経験があると、自分や友達のことを認めることができるようになると思います。

5年3組 担任

1 ねらい

主人公の行動や、周りの子どもたちの思いや悩みを通して、いじめを心から望んでいる者など誰もいないのだということを理解し、公正、公平な行いを大切にしようとする心情を育てる。

2 教材

主題名 正義の実現 教材名『名前のない手紙』（日本文教出版）

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

道徳で、いじめに関する授業を各学期1回以上行い、いじめをしてはいけないことを伝えています。どの授業でも話し合いや協力して作業をする時間を取り、友達の考えをよく聞いて認め合ったり、自分の考えを伝えたりする機会を増やすようにしています。折に触れて、一人一人考え方が違うことや、一人一人に良さがあることを伝えています。

4 ご家庭へのメッセージ

子どもたちは時折友達をうらやんだり、うまくできないことを悩んだりすることがあります。それは成長する中で、誰もが立ち向かう道です。お子さんが困っていたらゆったりと構え、人生の先輩として見守り、話を聞いてあげていただければと思います。学校でもお子さんに助言をしつつ、お子さんの成長を支援していきます。

6年1組 担任

1 ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

2 教材

写真を公開する前に「カードで学ぼう」(SNS東京ノート)

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

学級便りのタイトル「イロトリドリ」には、一人一人の違い(個性や考え方など)を認め合える集団になってほしいという思いを込めました。

人の気持ちは形がなく目に見えないからこそ、自分の思いを言葉で伝えたり相手の思いを想像したりすることが大切だと、授業や生活場面で繰り返し共有するようにしています。

4 ご家庭へのメッセージ

「相談できる相手を増やそう。できればその中に大人を入れよう。」4月当初からお子さんたちに伝えてきました。お子さんが悩みをこぼした時には、「よく話したね。」とうんと褒めてあげてください。保護者が受け止めてくださることは、お子さんにとって大きな安心につながります。

6年2組 担任

1 ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

2 教材

写真を公開する前に「カードで学ぼう」(SNS東京ノート)

3 いじめのないクラスにするために、日頃から学級経営で心がけていること

日ごろから、認め合い、助け合い、支え合う、支持的で共感的な人間作りに努めています。学級や学校生活で子どもたちに役割をもたせ、自分は役に立っているという自己有用感を味わわせるようにしています。また、授業内で友だち同士が話し合ったり協力し合ったりする機会を作り、クラスの一員としての自覚をもたせ、学校生活への意欲と期待感を高めるようにしています。

4 ご家庭へのメッセージ

行動やふるまい、表情や言動など、子どもの小さな変化を見逃さないように心がけています。しかし、学校では見せない家庭での姿を把握することは難しいです。

「いじめる側」にも「いじめられる側」にもさせないために、ささいなことでも情報を共有して、一緒に育てていければと思います。